



Vol.18
May 2015

CITY × UNIVERSITY

Osaka City University
135th
都市で学び 夢をつかむ

Vol.18 CONTENTS

●P1 特集1

新入生のみなさんへ

学長・研究科長よりメッセージ

●P3 特集2

Welcome to OCU!

杉本・阿倍野キャンパス散歩

●P5 大学トピックス

アルツハイマー病の新しい治療薬となる抗体を開発
がん増殖抑制物質合成促進酵素を用いた新たな胃がん治療法を発見
都市防災教育研究センターを開設
ほか

●P8 @ Campus 【アットキャンパス】

平成27年度 学部・大学院入学式を挙行
「キャンドルナイト～サポニワが繋ぐ地域と大学～」を開催
地域連携発表会を開催
ほか

●P10 OCUインフォメーション

夢基金だより
田中記念館がリニューアル
ほか



にしざわ よしき
■ 西澤 良記 学長

本学で学ばれる学生には、伝統的に自由な学風の中で、良き師や友人と出会い、実りの多い学生生活・研究生生活を送ってほしいと思います。何事にも好奇心やチャレンジ精神を忘れずに取り組んでください。可能性は無限大に広がります。学生生活が充実した有意義なものとなることを心より願っております。

学長・研究科長よりメッセージ
みなさんへ
新入生の

かなざわ まり
■ 金澤 真理 法学研究科長
法学部長

社会科学で学んだことを試し、活かす場合は、身近な日常の中にも数多くあります。アンテナを張りめぐらせ感受性を磨いて、「かりそめ」の知識を「ほんもの」の知見にしてください。昨日よりも今日、今日よりも明日、着実に思考を深め、4年後に成長した自分と会うために!



きよた たくみ
■ 清田 匡 経営学研究科長
商学部長

人口減少が進む中、日本の経済、社会でも大きな変革が進むでしょう。このような変革に立ち向かうだけでなく、自身が変革を惹き起こす気概で学問に取り組んでください。授業への取り組みは、1年次前期が特に重要ですので、前向きに取り組んでください。

ふくはら ひろゆき
■ 福原 宏幸 経済学研究科長
経済学部長

大学生活は「自分探し」の期間です。内省的な思考にとどまることなく、新しい出会いを通して「自分」を見つけ出すことができます。仲間や先生たちと深く関わる中で育まれる豊かなコミュニケーションが、脳を刺激します。こういった経験を通して、自分らしさを発見し、自分の未来像を描き出すことができます。

おだなか あきひろ
■ 小田中 章浩 文学研究科長
文学部長

文学研究科が扱う学問分野は文学や芸術だけでなく、哲学・歴史学・社会学・心理学・地理学・教育学など多岐にわたり、研究科そのものが一つの「宇宙」(ユニバース)を形成しています。その意味でまさに大学(ユニバーシティ)を象徴する場所です。皆さんでこの広大な宇宙の探索に乗り出してください。

ほそん たかゆき 理学研究科長
理学部長

皆さんは今まで、効率的に知識を吸収することを競ってきたと思います。理学部入学後は、効率ではなく、いかに多くの科学的経験を積むかを目指してください。たくさんチャレンジし、たくさん失敗することが大事です。それらを通して、科学的な見方、発想法、理解の仕方を十分に養うことを期待します。

あらかわ てつお 医学研究科長
医学部長

医師には優れたコミュニケーション・スキルが求められます。「先生と話ただけで良くなった」と言われる医師を目指してください。そのために部活は大いに役立ちます。苦難と喜びを共有する仲間を持つことで、痛みのわかる人格が形成されます。世界の誰からも信頼されるグローバル人材に育ってください。

にしかわ よしかず 生活科学研究科長
生活科学部長

学部では、教えられる者から自学自修する者への脱皮と人格の陶冶が求められます。①コミュニケーション能力(挨拶、レポートの書き方、ディスカッションの訓練、英語力)、②チャレンジ精神、③教養に基づく創造力・地頭力、④答えのない問題に解を見出す思考力、を養い、大学院で専門性を完成させましょう。



ひの やすお 工学研究科長
工学部長

皆さんは自分が思っている以上に、大きな可能性を持っています。是非、いろんなことにチャレンジしてみてください。たかが4年ですが、生涯の友と仕事に出会える大事な4年です。自分の意志と努力が、その可能性を現実近づけてくれます。市大での生活に、先生や仲間に、そして自分の成長に乞うご期待!

おやまだ ひろこ 看護学研究科長

大学生活では「友人を作る」より、「挨拶から始まる人間関係」を作ってみましょう。そして「疑問に思ったことを聞いてみる」から、知的探索の人間関係に発展させましょう。そこから「皆、同じ理解かな? 感想かな?」と輪を広げることができます。社会に出発する大学卒業迄に、人の心に話しかけることができるようになるのはとても大切です。

かしわぎ ひろし 創造都市研究科長

大学・大学院では、教員から専門的な知識を得るだけでなく、学生同士で学びあい、獲得した知識を社会のために役立てていくという意識を持っていただければと思います。自分だけでなく、社会のためという意識こそが、皆さんの学習意欲を高めるとともに、学ぶことの意味を創りだすと考えるからです。

Welcome to OCU! 杉本・阿倍野 キャンパス散歩

キャンパスには四季折々のさまざまな顔があります。キャンパスの中を歩いて、あなただけのお気に入りのスポットを見つけてください!

1 JR杉本町駅



2 杉本門



JR阪和線杉本町駅を出ると、すぐに杉本門! レンガ壁にレトロな大学のプレートが出迎えてくれます。

杉本キャンパス Sugimoto Campus

4 けやき通り

夏には格別に涼しく感じるけやき通り。休憩スペースもあり、冬にはイルミネーションが点灯してロマンティックです。



5 さくら通り

2013年に完成したばかりなのでまだ桜は若木。これからの成長が楽しみです。季節に応じた花も楽しめます。



6 銀杏並木

秋には黄金に色づいた銀杏並木を楽しめます。



8 ワシントン広場

ワシントン椰子からその名前がつけました。



9

サボニワ

学生からアイデアを募集して完成したサボニワ。利用の仕方は無限大です。

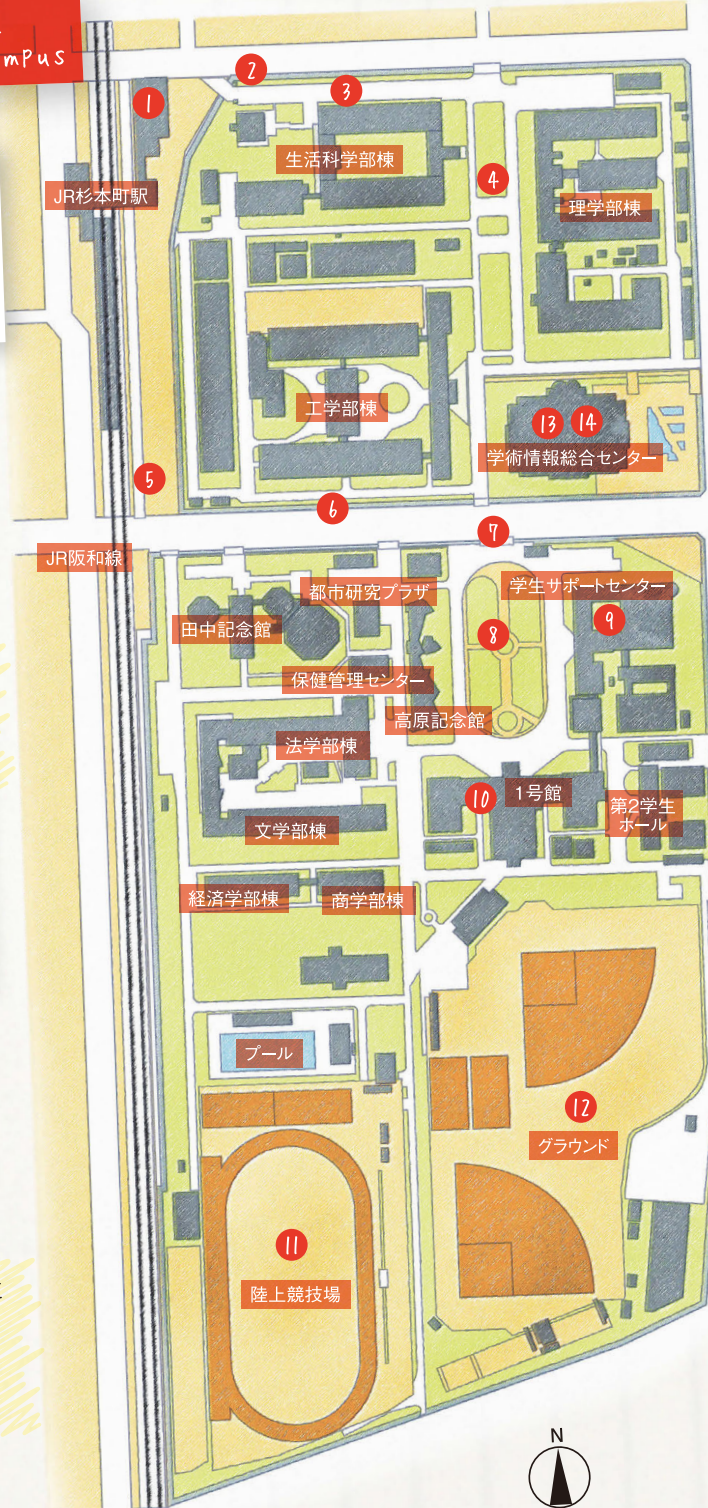


11 陸上競技場



12 グラウンド

正門を抜け、1号館を更に奥に進むとグラウンドが。クラブ活動も盛んです。



3 南部ストリート

2008年にノーベル物理学賞を受賞された南部陽一郎特別荣誉教授から名前をいただきました。クスノキの並木がキャンパスへと誘います。



17 桜並木

全学共通教育棟の裏には圧巻の桜並木があります。



16

旧教養地区の木陰
夏はここで一休み。



杉本キャンパスの猫「ハナちゃん」

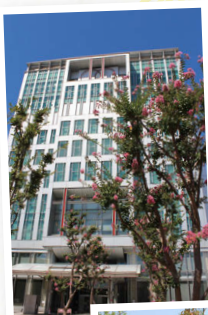
15 旧教養地区

春は新入生歓迎の「ふたば祭」秋には大学祭の「銀杏祭」が開催されます。



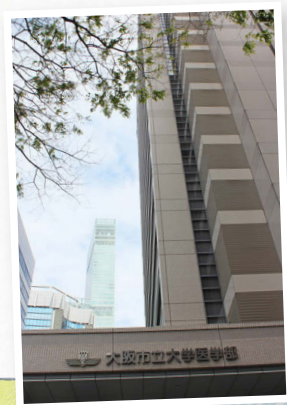
13 学術情報総合センター

大学の図書館である学術情報総合センター。中央玄関前には人工池があり、夏には百日紅の花が楽しめます。



14 学情庭園アステリア

屋上には季節の花を楽しめる庭園があります。



7 正門



10 1号館

市大と言えば、時計台が目印の1号館です。



阿倍野キャンパス
Abeno Campus



18 医学部医学科学舎

19 智・仁・勇の三女神像



20 医学部看護学科学舎



21 学生ホール

待ち合わせやランチに使う憩いの場です。



医学科のエンブレム



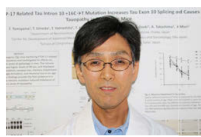


1

アルツハイマー病の新しい治療薬となる抗体を開発

医学研究科 脳神経科学の富山貴美准教授らのグループは、アルツハイマー病の新しい治療薬となる抗体を開発しました。

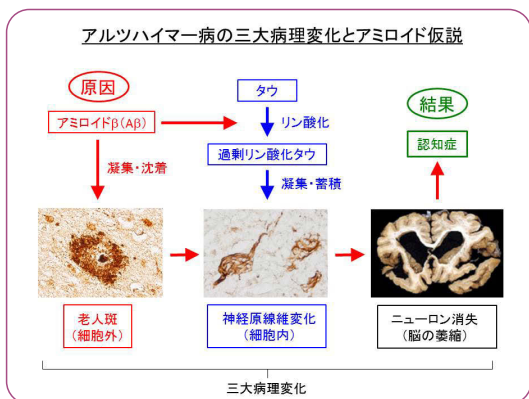
アルツハイマー病の脳には、アミロイドβというペプチドが細胞外にたまってできる「老人斑」と、タウというタンパク質が過剰にリン酸化され細胞内にたまってできる「神経原線維変化」という



富山 貴美 准教授

2つの病理変化が現れます。これまでは主にアミロイドβを標的とする薬が開発されてきましたが、臨床試験で有効性が確認されたものはまだありません。今回の研究は、過剰にリン酸化されたタウに結合してこれを除去する新しい抗体を開発したというものです。

アルツハイマー病の治療は今後、アミロイドβを標的とする薬とタウを標的とする薬の併用療法が主流になってくるものと思われます。今回開発された抗体は、他の抗体と比べて高い治療効果を示すことから、タウを標的とする薬の有効なプロトタイプになると期待され、ピック病や大脳皮質基底核変性症、進行性核上性麻痺などの予防・治療にも使えと期待されます。



2

がん増殖抑制物質 合成促進酵素を用いた 新たな胃がん治療法を発見

医学研究科 腫瘍外科学の平川弘聖教授、八代正和准教授らのグループは、がん抑制物質の一つであるプロスタグランジン*D2の合成を促進する酵素の投与により動物実験レベルで胃がん治療に成功しました。

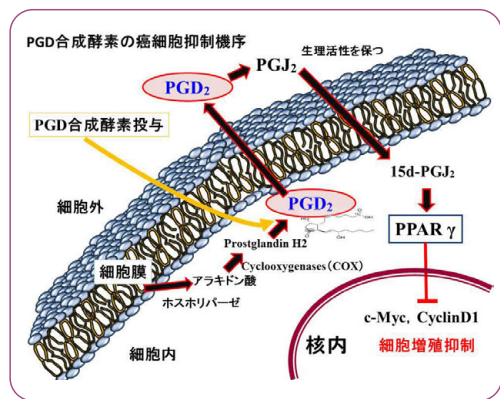
がん細胞自身からのがん抑制因子産



八代 正和 准教授

生を促す治療法は、今までにない新しいがん治療法です。また、PPARγ (ペルオキシソーム増殖因子活性受容体γ) という分子が、プロスタグランジンD合成酵素のがん治療効果を判別することも明らかにしました。胃がんは日本で年間約5万人が亡くなる死亡率第2位のがんですが、今回の成功により新しい胃がん分子標的治療の特効薬の開発が期待できます。また、膵がん細胞や食道がん細胞にも有効であることを確認しており、難治がんに対する新しい治療法としても期待されています。

※プロスタグランジン 生体膜構成成分のアラキドン酸から合成される脂質系の生理活性物質。



研究者 クローズアップ



とみやま たかみ 医学研究科 富山 貴美 准教授

研究室には脳の細胞を観察するためのプレパラートがいっぱい。生活習慣病、中でも糖尿病はアルツハイマー病の重要な危険因子だそうです。だからというわけではありませんが、昼食を外に食べに行くのが面倒で、お昼はプロテインだけにして糖質を制限したところ、みるみる体重が減ってしまったそうです。痩せたい方は試してみてください。とのことでした。



研究者 クローズアップ



やしろ まさかず 医学研究科 八代 正和 准教授

先生の研究室で目についたのは、がん細胞が入った培養液。人の体温と同じ温度で保管され、変化を観察します。日頃はもっぱら研究活動に没頭しているようですが、時間があるときは家族との時間を大切にしているとのこと。もともと市大医学部の野球部に所属していた野球好きなので、高校野球観戦を時々楽しんでいるそうです。



3

都市防災教育研究センターを開設

本学は平成23年3月11日の東日本大震災以降、直ちに都市防災研究プロジェクトを立ち上げ、全学的な文理融合の組織で被災地支援及び防災研究・防災教育を推進してきました。今回、その約4年間の成果を踏まえ、平成27年3月1日に都市防災教育研究センターを開設しました。

当センターでは、東日本大震災後の新たな防災の仕組みとして、都市大阪を基盤にした「いのちを守る都市づくり」による災害知の社会実装を展開します。「いのちを守る」ことを第一義にして都市の災害リスクを精緻に評価し、適切な避難や災害対応につなげる防災リーダーを育成するとともに、防災拠点の計画・整備を通して自助・共助による確かな防災力の向上を図ります。また、国内外の防災センター等と連携しながら広域複合災害に向けて、最新の

災害研究・情報技術・都市科学を踏まえた新しいコミュニティ防災システムの確立を目指します。

3月21日(土)には、当センター設立記念として、「いのちを守る都市づくり 地域防災フォーラム2015」を開催しました。フォーラムの第1部では、都市

自助・共助によるコミュニティ防災の仕組み



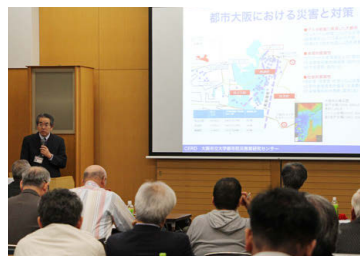
地区ごとの特性・事情や地理的特徴などを踏まえ、個別の地区防災ニーズに応えていく。

証式)も行いました。第2部では、都市防災研究プロジェクトの一環で地域住民を中心に結成されたコミュニティ劇団「スミヨシ・アクト・カンパニー」の第3回公演「星のつぶやき・いのちを守るまち3」を上演。会場は地域住民の方や都市防災関係者で満員となり大成功のうちに幕を閉じました。



パネルディスカッションの様子

森所長の概要説明



ODRPいのちラボ認証式



スミヨシ・アクト・カンパニーの公演風景

4

荒川研究科長が山中伸弥教授と懇談を行いました

平成26年12月24日(水)、本学医学研究科の荒川哲男研究科長が京都大学iPS細胞研究所を訪問し、1993年に本学医学研究科を修了、2012年にノーベル賞を受賞された山中伸弥教授と懇談を行いました。

懇談では、山中教授が医学部を目指したきっかけや、本学の医学研究科に進学しようと思われたいきさつ、大学院時代の昔話などもお伺いしました。大阪市立大学で学んだ一番大きなことは、「予想や仮説を大切にすることはなく、実験の結果を一番大切にすること。実験結果が予想通りにならず失敗しても、そこに新しい発見がある。失敗

こそ大きな飛躍のチャンスです。」と語ってくださいました。なんと、iPS細胞の研究も予想外の実験結果が出たことで始まった研究だそうです。

最後に、本学の在学生・卒業生に向けて、「医師という職業は病気で苦しんでおられる患者さんや家族の方に貢献する本当に素晴らしい仕事です。医学生の方には今の大切な時期に、出来るだけたくさんのことを学んで素晴らしい臨床医になっていただきたいと思います。しかし臨床医だけが医者の仕事ではありません。今治せない病気や怪我を将来治せるように、2割程度は基礎研究にも進んで欲しいと思っています。また、公

医学について語りあう山中教授(右)と荒川研究科長(左)



衆衛生やその他の医療政策に関わる第三の医師など、医学部を卒業された方にはさまざまな可能性がありますので、あまり早い時期に自分の一生を決めてしまわずに、若い間は出来るだけいろんなことに挑んで欲しいと思います。」というメッセージをいただきました。



5

理化学研究所、慶應義塾大学SFCと連携・協力協定を締結

平成27年2月16日(月)、健康科学イノベーションセンターは、理化学研究所(理研)、および慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)と協定を締結しました。

本協定は、高齢者の健康増進を図り、自立支援を推進する社会の構築に向けた連携・協力を行うことに合意して、理研ライフサイエンス技術基盤研究センター、光量子工学研究領域、情報基盤

センター、および慶應義塾大学(SFC)の総合政策学部、環境情報学部、大学院政策・メディア研究科と結ばれたものです。

今後、健康情報ビッグデータに関する課題を解決するため、相互の人材交流、共同研究、人材育成等の連携・協力等を行います。



協定締結後の記念撮影／左から2番目が健康科学イノベーションセンターの渡辺所長

6

メルボルン大学医学部との基本合意書の調印

平成27年2月5日(木)に大阪市役所市長公室にて、本学医学部とメルボルン大学医学部との学生間交流等の促進に向けた基本合意書の調印式を行いました。

大阪市の姉妹都市であるメルボル

ン市とは、かねてより交流が盛んで、本学も昭和63年にメルボルン大学と学術交流協定を結び、主に研究者間の交流を進めてきました。今回の合意書締結により、医学部間での学生交流や学術交流の促進が大いに期待されます。



調印式の様子／右から2番目が荒川研究科長

7

嶺南大学の教員・学生が宮野副学長を表敬訪問

生活科学研究科と嶺南大学ヒューマンエコロジー&運動科学研究科は、平成20年に締結した学術交流協定に基づき、定期的に共同シンポジウムを開催しており、平成27年3月18日(水)～20日(金)に第4回を本学で開催しました。

来日した嶺南大学の教員と学生一行はまず、宮野副学長を表敬訪問し、懇談しました。シンポジウムは「人口の

都市集中と高齢化そして社会システムのグローバル化が進行する世界において生活科学が果たすべき役割」というテーマで、双方の研究者が計9題のオーラルプレゼンテーションを行いました。大学院生を交えたポスタープレゼンテーション等も実施され、両国の現状を踏まえての有意義かつ活発な議論が交わされました。

プレゼンテーションの様子



表敬訪問での懇談風景

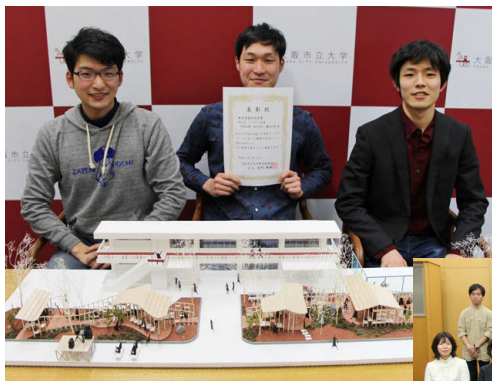


8

「庭ラボ 学生アイデアコンペ」開催・最優秀賞決定!

平成27年3月13日(金)に杉本キャンパスにて、「庭ラボ 学生アイデアコンペ」が開催されました。16作品のエントリーがあり、厳正なる審査の結果、工学研究科都市系専攻の塩原裕樹さん(前期博士課程2年生)・浦田周兵さん(前期博士課程1年生)・鷹尾拓寛さん(前期博士課程1年生)のグループが最優秀賞(教育後援会会長賞)を受賞しました。

このコンペは、旧教養地区にある第1学生ホール前をリノベーションする目的で開催されたもので、今回最優秀賞に選ばれた案に基づいてリノベーションを行い、誰もが快適に利用できるオープンスペースを設置する予定です。



賞状と模型とともに記念撮影
左から浦田さん、塩原さん、鷹尾さん



桐山副学長より賞状を授与
コンペ参加者の集合写真



※学生の学年表記は、受賞時のものです。

平成27年度 学部・大学院入学式を挙行

平成27年4月6日(月)、大阪市中央体育館にて平成27年度学部・大学院入学式が挙行されました。今年度の入学者は、学部入学生1,547名、大学院入学生(進学生、法科大学院生含む)667名でした。まず、西澤学長からお祝いのことばや来賓祝辞、学生代表の宣誓などがありました。その後、本学合唱団による式歌の斉唱、コンサートバンドの音楽演奏の披露により華やかな入学式となりました。



学長のお祝いのことばを真剣に聴く学生たち

「キャンドルナイト～サポニワが繋ぐ地域と大学～」を開催



サポニワ(左)と1号館前(右)に並べられたキャンドル

平成27年1月22日(木)・23日(金)、文学部表現文化コース提供科目「表現・表象文化論演習Ⅱ」の受講学生が、アーツマネジメント実習の一環として取り組んだ「キャンドルナイト～サポニワが繋ぐ地域と大学～」が開催されました。今回で3度目の開催となり、学生だけでなく、地域のさまざまな人たちの手作りキャンドルやランプシェード、行灯を並べることによって、普段の大学のイメージとは異なったアート空間を作り、大学と周辺地域の方々と交流をはかりました。

地域連携発表会を開催

平成27年3月4日(水)、学術情報総合センターにおいて「第2回地域連携発表会」が開催されました。地域連携センター開設2周年を迎えた今年も、昨年と同様、多くの地域の方にご来場いただき会場は満席。連携事例発表では参加者一同、熱心に聴き入っており、発表終了後のテーマ別座談会では各ブースでそれぞれ活発に質問や意見交換が行われ、時間が足りないほどでした。また、学生によるポスター発表にもさまざまな質問が飛び交い活気に満ち溢れていました。



学生の発表を熱心に聴く参加者



ポスター発表優秀者との記念撮影

「スポーツ☆サイエンスフェスタ2015 in OCU」を開催



アーチェリーの基本姿勢の練習風景

宮側教授の講演



平成27年3月7日(土)に都市健康・スポーツ研究センター(健康・スポーツアカデミー)主催の「スポーツ☆サイエンスフェスタ 2015 in OCU」を開催しました。第1部のスポーツ☆サイエンスセミナーと第2部のワークショップ(アーチェリー、ポールウォーキング、トランポ・ロビックス)に分かれており、開催日当日は雨模様であいにくのお天気でしたが、子供からお年寄りまで楽しんでいただける1日となりました。

「広域災害発生時の患者受入訓練」を実施

平成27年3月5日(木)、医学部附属病院にて、広域災害発生時を想定した患者受入訓練を実施しました。今年度の訓練は、新しく改定を行った災害対策マニュアルの検証をするとともに、今回から新たに導入した電子トリアージ支援システム(3Spiders)を活用し、正確かつリアルタイムに患者情報の収集と共有化を体験することを目的とし、教職員および学生約160名が参加しました。



重症患者の処置をする医師

電子トリアージの様子

平成27年度「白衣授与式」を開催



各診療科の教授と真新しい白衣を着用した学生たち

平成27年4月8日(水)、医学部学舎において平成27年度「白衣授与式」を開催しました。この授与式は、臨床実習を開始するにあたり学生一人一人に白衣を授与することで、医師になる者としての高い志と、医師に一歩近づいたStudent Doctorとしての自覚と責任を促すことを目的としています。また、医学生の質保証を行い、実習に送り出していることを市民の皆様にも知っていただくことで、より良い医師の育成にご協力が得られるようにしたいとの願いもこもっています。

科研費の審査委員表彰を受彰

複合先端研究機構の藤井律子准教授が、独立行政法人日本学術振興会より平成26年度「科研費」審査委員の表彰を受け、平成27年3月10日(火)に西澤学長から表彰状と記念品が手渡されました。平成26年度は約5,300名の第1段階審査(書面審査)委員の中から170名が表彰されました。



左から宮野副学長、藤井准教授、西澤学長

大分県知事賞を受賞

理学研究科の原口強^{つよし}准教授が、平成27年3月18日(水)、「おおいたジオパーク推進学術研究論文」の調査研究レポートの部で大分県知事賞を受賞しました。

これは、大分県が学術的な面から地域の魅力の再発見につなげることを目指して募集したもので、「姫島周辺の海域ジオパークの潜在的価値」というテーマで、姫島周辺海域の地形・地質の特性を調査・評価し、海域ジオパークの潜在的価値について考察した内容が評価されたものです。



賞状を持った笑顔の原口准教授

「第23回関西医学部対抗スキー選手権大会」2冠を達成!

平成27年1月1日(木)～3日(土)の3日間、長野県よませ温泉スキー場にて開催された「第23回関西医学部対抗スキー選手権」において医学部競技スキー部が優秀な成績を収めました。医学部2年生の福田^{みかど}帯さん(主将)が男子SL(回転)・男子GS(大回転)で優勝し2冠を達成。また、大学対抗総合の部では昨年より順位を2つ上げ、全9校中総合4位入賞という素晴らしい結果を残しました。



表彰台で笑顔の福田さん(中央)

「第3回大東建託 賃貸住宅コンペ」で優秀賞を受賞!

平成27年2月12日(木)、大東建託株式会社が創業40周年にちなんで「40年後の未来の賃貸住宅」をテーマに「第3回大東建託 賃貸住宅コンペ」を開催、受賞者の発表を行いました。工学研究科都市系専攻前期博士課程1年生の亀井健太さんと広島工業大学の川口祥^{まさのり}さんが共同で制作した「空中賃貸住宅」が優秀賞を受賞しました。



賞状を持って記念撮影
左から川口さん、亀井さん

「せんだいデザインリーグ2015卒業設計日本一決定戦」で最優秀賞を受賞!

平成27年3月2日(月)、工学部建築学科4年生の芥^{あくた りゅうのすけ}隆之介さんの卒業設計「Sacrificeー人生を、コミュニティを紡ぐー」がせんだいデザインリーグ2015卒業設計日本一決定戦「第3回国連防災世界会議 仙台開催実行委員会会長賞」の最優秀賞を受賞しました。また、平成27年2月5日(木)、日本ペイントホールディングス株式会社 リノベーション国際コンペティ

ション「Nippon Paint Young Designer Award 2014」で優勝し、日本代表として臨んだ3月開催のアジア大会でも優勝しました。

芥さんとこれまでに受賞した数々のトロフィーや賞状



「デザイン女子No.1決定戦2015NAGOYA 都市・建築部門賞」で1位を受賞!

平成27年3月9日(月)・10日(火)に開催された「デザイン女子No.1決定戦2015NAGOYA」で、工学部建築学科4年生の久保^{あきこ}晶子さんの卒業設計『まちを縫う』が都市・建築部門賞の1位を受賞し、全体でも3位に入賞しました。今回受賞した作品は、ご自身の出身地を題材にしたもので、現在の川の流れに昔の川の流れを投影したものになっています。

受賞した盾とともに笑顔の久保さん



夢基金だより



ふるさと寄附金を活用して、
大学への継続的な支援をお願いします!

◆ 個人でご寄附いただくみなさまへ ◆

大阪市のご協力のもと、平成27年4月より大阪市の「ふるさと寄附金」メニューに「市立大学振興関係」を加えていただきました。これにより、大阪市内に納めていただいた寄附金は産業経済振興基金に積み立てられ、大阪市立大学の学生ホール等の整備およびグローバル人材の育成事業に役立てられます。大阪市民の方はもちろん、それ以外の市、都道府県にお住まいの方でもこの制度をご利用になれます。住民税および市民税が軽減されるこの制度を活用し、ご寄附をいただきますようお願いいたします。

控除外		控除額	
適用 下限額	2,000円	所得税の控除額 (ふるさと納税額-2,000円) × 所得税率	住民税の控除額 (基本分) (ふるさと納税額-2,000円) × 住民税率(10%)
		住民税の控除額 (特例分) 所得割額の 2割を限度	

税制上の優遇措置について

大阪市内に対してふるさと寄附(納税)をすると、ふるさと寄附(納税)額のうち2,000円を超える部分について、一定の上限まで、原則として所得税・個人住民税から全額が控除されます。

例: 年収700万円の給与所得者(夫婦のみ)が、3万円のふるさと寄附(納税)をすると、2,000円を除く2万8,000円が控除されます。

市立大学振興関係

検索

※大阪市ふるさと寄附金「市立大学振興関係」をご参照ください。

◆ 田中記念館がリニューアル、新たな同窓生の集まる場所へ!

特徴的な八角形のホール、展示室、レストラン等が連なる田中記念館が、このほどリニューアルオープンします。レストラン「メタセコイア」は4月より、ホールの完成は8月初旬予定です。初旬から約1か月間はオープニングイベントが予定されています。同窓生が集う(在校生を含む)キャンパスのシンボリックな場所として、ぜひ一度足をお運びください。



田中記念館ホール完成予想図

お問い合わせ

大学サポーター支援室(大阪市立大学夢基金)

TEL : 06-6605-3415 (平日9時~17時)

FAX : 06-6605-3416

E-mail : yumekikin@ado.osaka-cu.ac.jp

❖ オープンキャンパス開催のお知らせ

阿倍野キャンパスでは8月6日(木) (医学部医学科)、7日(金) (医学部看護学科)、杉本キャンパス(商学部、経済学部、法学部、文学部、理学部、工学部、生活科学部)では8月8日(土)~9日(日)にオープンキャンパスを開催します。

高校生みなさんに大阪市立大学の魅力をもっと知っていただけるよう、たくさんのプログラムを用意しています。高校3年生・受験者の方はもちろん、高校1・2年生やご家族の方もぜひご参加ください。



昨年のオープンキャンパスの様子



商学部の学部案内の様子

大学・入試説明会

大阪市立大学の概要や、入試について説明します。

学部・学科説明会

学部毎に概要・特徴を説明します。気になる学部のある方は必見!

基礎教育実験棟三二実験

理科系の基礎教育科目の授業で行っている実験を体験できます。

学術情報総合センター(図書館)見学会

蔵書数250万冊を誇る国内有数の大学図書館です。オープンキャンパスにあわせて所蔵資料の展示も行います。

在学生によるキャンパスライフ相談会

大学でどんなことを学んでいるの? 一人暮らしの場合、生活費はどれくらいかかるの? といった、学生生活についての疑問に大学生がお答えします。

❖ 2017年度卒業予定者対象 就職ガイダンススタート!

6月8日(月)~25日(木)まで、3週連続で就職ガイダンスを開催します。

第1回 就職活動の基礎知識

ガイダンスは月曜~金曜まで同じ内容を毎日1回実施しています(第3回のみ木曜まで)。学生の皆さんは授業に合わせて都合の良い日を選んでご参加ください!

第2回 自己分析の考え方

第3回 インターンシップガイダンス



昨年度のガイダンスの様子



就職関連情報コーナー

❖ 全学年対象 「労働法制」セミナー開催 市大OG小松労働紛争調整官来校!

「ブラック企業」が取り沙汰される中、働く上で最低限必要な法律の知識を深めていただくために、大阪労働局による「労働法制」セミナーを開催します。

6月30日(火)
16:30~17:30

❖ 大阪市立大学公式動画が「YouTube」に正式オープンしました!

平成27年4月より動画サイト「YouTube」上に、大阪市立大学公式チャンネルを本格的に運用しています。最新の大学紹介(全学編、学部編)、行事紹介など目と耳で楽しめる内容です。英語、中国語での発信も行っていますので、ぜひご覧ください!

URL : <https://www.youtube.com/user/ocuchannel>



大阪市立大学広報誌

CITY UNIVERSITY vol.18

発行：公立大学法人 大阪市立大学
企画・編集：法人運営本部 広報室
デザイン協力：desk
発行日：2015年5月

本誌に関するお問い合わせ・ご意見・ご感想は
大阪市立大学 法人運営本部 広報室
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
e-mail : t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

本誌に掲載の写真および原稿の無断転用を禁じます

グローバルな都市研究・教育拠点



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

杉本キャンパス

商・経・法・文・理・工・生活科学 各学部・各大学院研究科・本部
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

阿倍野キャンパス

医学部・大学院医学研究科・大学院看護学研究科・医学部附属病院
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

梅田サテライト

大学院創造都市研究科・文化交流センター
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

<http://www.osaka-cu.ac.jp>